



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	28,197	△20.7	4,343	△46.1	4,628	△47.9	3,312	△49.3
30年3月期第2四半期	35,569	20.1	8,060	46.5	8,884	284.4	6,529	287.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 4,757百万円(△30.7%) 30年3月期第2四半期 6,867百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	90.73	90.71
30年3月期第2四半期	188.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	154,846	126,973	82.0
30年3月期	154,337	123,491	80.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 126,956百万円 30年3月期 123,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
31年3月期	—	30.00			
31年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成31年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	58,000	△19.3	8,000	△46.3	8,200	△47.2	6,000	△46.8	164.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	36,600,000株	30年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	88,193株	30年3月期	87,983株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	36,511,897株	30年3月期2Q	34,695,763株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済の動向は、米国では減税効果による企業業績の改善や雇用の拡大、良好な個人消費など拡大基調が続いており、欧州においても雇用環境が改善するなど緩やかな回復傾向が継続しています。中国においても個人消費が底固さを保ち堅調な推移となりました。わが国においても堅調な世界経済を背景に企業業績が改善するなど総じて緩やかな回復基調が続きました。

このような経済情勢の中、当社グループは第2次中期経営計画「Ever Onward 2020」をスタートさせ、これまで以上に世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では中国市場を中心に生産の高付加価値化への取組みが進み、ホールガーメント横編機の導入が拡大しましたが、先進国向けOEM生産拠点のバングラデシュでは不安定な国内政治情勢を受けて設備投資が停滞しました。また近年急速に拡大していたシューズアップパー生産用途のコンピュータ横編機も競争環境が厳しさを増す中で売上が落ち込みました。一方、欧州では主力産地のイタリアにおいてホールガーメント横編機を中心に販売が伸長しました。また国内市場においてもコンピュータ横編機の売上高は前年同期を上回る推移となりました。

これらの結果、横編機事業全体ではアジア地域での落ち込みが大きく売上高は219億33百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

デザインシステム関連事業においては、高精細シミュレーションを実現する「SDS-ONE AP EX 3」や自動裁断機「P-CAM」を核とするカッティングソリューションの提案型営業に注力しましたが、売上高は18億66百万円（前年同期比5.7%減）にとどまりました。

手袋靴下編機事業ではアジアの大手ユーザーにおける設備更新はありましたが、売上高は8億29百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

その他事業につきましては部品販売が拡大したことなどにより、売上高は35億67百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

これらの結果、当第2四半期全体の売上高は281億97百万円（前年同期比20.7%減）となりました。利益面におきましては、売上総利益率は前年同期に比べて若干改善したものの、売上高が大きく減少したことに加えて販管費が増加したことなどで営業利益は43億43百万円（前年同期比46.1%減）となりました。営業外損益には大きな増減は無く、経常利益は46億28百万円（前年同期比47.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億12百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産はたな卸資産の増加などで前期末に比べ5億8百万円増加し、1,548億46百万円となりました。負債合計は買掛債務や未払法人税等の減少などで前期末に比べ29億73百万円減少し、278億72百万円となりました。また自己資本の額は、1,269億56百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて2.0ポイント上昇し82.0%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においてたな卸資産の増加や法人税等の支払いなどの資金の減少項目はありましたが、売上債権の減少などで47億57百万円の資金の増加（前年同期は28億62百万円の資金の増加）となりました。投資活動においては有形固定資産の取得による支出などにより18億59百万円の資金の減少（前年同期は14億30百万円の資金の減少）となりました。また財務活動におきましては配当金の支払いなどにより15億96百万円の資金の減少（前年同期は75億78百万円の資金の増加）となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前期末に比べて15億94百万円増加し、258億18百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月24日に発表しました平成31年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,575	26,160
受取手形及び売掛金	70,017	63,684
商品及び製品	10,838	13,458
仕掛品	1,142	953
原材料及び貯蔵品	5,864	6,457
その他	1,444	1,505
貸倒引当金	△1,989	△2,146
流動資産合計	111,893	110,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,326	6,441
土地	11,392	11,582
その他（純額）	5,795	6,334
有形固定資産合計	23,514	24,357
無形固定資産		
のれん	3,246	3,276
その他	349	374
無形固定資産合計	3,596	3,651
投資その他の資産		
投資有価証券	10,646	11,107
退職給付に係る資産	1,056	1,115
その他	5,170	6,288
貸倒引当金	△1,539	△1,747
投資その他の資産合計	15,334	16,764
固定資産合計	42,444	44,773
資産合計	154,337	154,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,466	2,710
電子記録債務	1,325	1,157
短期借入金	8,499	9,085
未払法人税等	3,321	1,890
賞与引当金	901	1,434
債務保証損失引当金	381	361
その他	7,121	6,420
流動負債合計	26,018	23,061
固定負債		
長期末払金	1,051	996
リース債務	2,405	2,496
退職給付に係る負債	824	823
その他	547	495
固定負債合計	4,827	4,811
負債合計	30,846	27,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	25,867	25,867
利益剰余金	89,978	92,013
自己株式	△258	△259
株主資本合計	130,447	132,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	941	892
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△1,335	187
退職給付に係る調整累計額	427	397
その他の包括利益累計額合計	△6,969	△5,525
新株予約権	-	3
非支配株主持分	13	14
純資産合計	123,491	126,973
負債純資産合計	154,337	154,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	35,569	28,197
売上原価	18,479	14,591
売上総利益	17,089	13,605
販売費及び一般管理費	9,029	9,261
営業利益	8,060	4,343
営業外収益		
受取利息	302	86
受取配当金	108	104
為替差益	316	-
その他	315	344
営業外収益合計	1,042	535
営業外費用		
支払利息	85	161
売上割引	75	11
為替差損	-	22
その他	57	54
営業外費用合計	218	250
経常利益	8,884	4,628
特別利益		
新株予約権戻入益	41	-
特別利益合計	41	-
特別損失		
代理店解約損	-	25
特別損失合計	-	25
税金等調整前四半期純利益	8,925	4,602
法人税、住民税及び事業税	2,653	1,144
法人税等調整額	△259	144
法人税等合計	2,394	1,289
四半期純利益	6,531	3,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,529	3,312

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	6,531	3,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	△49
為替換算調整勘定	114	1,522
退職給付に係る調整額	△2	△29
その他の包括利益合計	336	1,444
四半期包括利益	6,867	4,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,865	4,757
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,925	4,602
減価償却費	1,020	1,084
のれん償却額	202	200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	88	289
賞与引当金の増減額(△は減少)	479	529
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33	△93
受取利息及び受取配当金	△410	△190
支払利息	85	161
為替差損益(△は益)	155	349
新株予約権戻入益	△41	-
売上債権の増減額(△は増加)	△4,600	6,698
たな卸資産の増減額(△は増加)	△228	△3,111
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△281	△162
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,578	△2,045
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,029	△1,087
その他	△152	74
小計	4,660	7,298
利息及び配当金の受取額	408	189
利息の支払額	△89	△167
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,117	△2,563
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,862	4,757
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△215	△221
定期預金の払戻による収入	772	230
有形固定資産の取得による支出	△1,322	△1,246
有形固定資産の売却による収入	18	12
投資有価証券の取得による支出	△503	△504
その他	△181	△131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,430	△1,859

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,700	-
長期借入金の返済による支出	△5,000	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△270	△318
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△861	△1,276
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	9,985	-
新株予約権の発行による収入	28	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,578	△1,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	293
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,907	1,594
現金及び現金同等物の期首残高	18,286	24,223
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,193	25,818

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が連結決算日と異なるSHIMA SEIKI ITALIA S. p. A. については、四半期連結決算日との差異が3ヶ月以内であるため、当該連結子会社の当該四半期会計期間に係る四半期財務諸表を利用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については調整を行った上で連結しておりますが、四半期連結財務情報開示をより適正化するため、第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

この変更に伴い、当第2四半期連結累計期間は平成30年1月1日から平成30年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

なお、当該子会社の平成30年1月1日から平成30年3月31日までの売上高は15億79百万円、営業利益は1億42百万円、経常利益は1億28百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億18百万円であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,569	1,980	869	32,419	3,150	35,569
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	29,569	1,980	869	32,419	3,150	35,569
セグメント利益	9,868	564	194	10,627	388	11,015

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,627
「その他」の区分の利益	388
全社費用(注)	△2,955
四半期連結損益計算書の営業利益	8,060

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,933	1,866	829	24,629	3,567	28,197
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	21,933	1,866	829	24,629	3,567	28,197
セグメント利益	6,278	423	163	6,864	650	7,515

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,864
「その他」の区分の利益	650
全社費用(注)	△3,171
四半期連結損益計算書の営業利益	4,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)に記載のとおり、一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しており、当第2四半期連結累計期間は平成30年1月1日から平成30年9月30日までの9ヵ月間を連結しております。

【関連情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
3,620	3,668	1,147	25,962	1,170	35,569

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
4,132	5,550	2,937	14,855	721	28,197

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	21,548	72.7%	8,615	72.8%
デザインシステム関連	2,219	100.5%	731	136.4%
手袋靴下編機	925	47.1%	344	26.0%
合計	24,693	73.1%	9,691	70.8%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	21,933	74.2%
デザインシステム関連	1,866	94.3%
手袋靴下編機	829	95.3%
その他	3,567	113.3%
合計	28,197	79.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。